

鳴門教育大学の 開発途上国教育支援

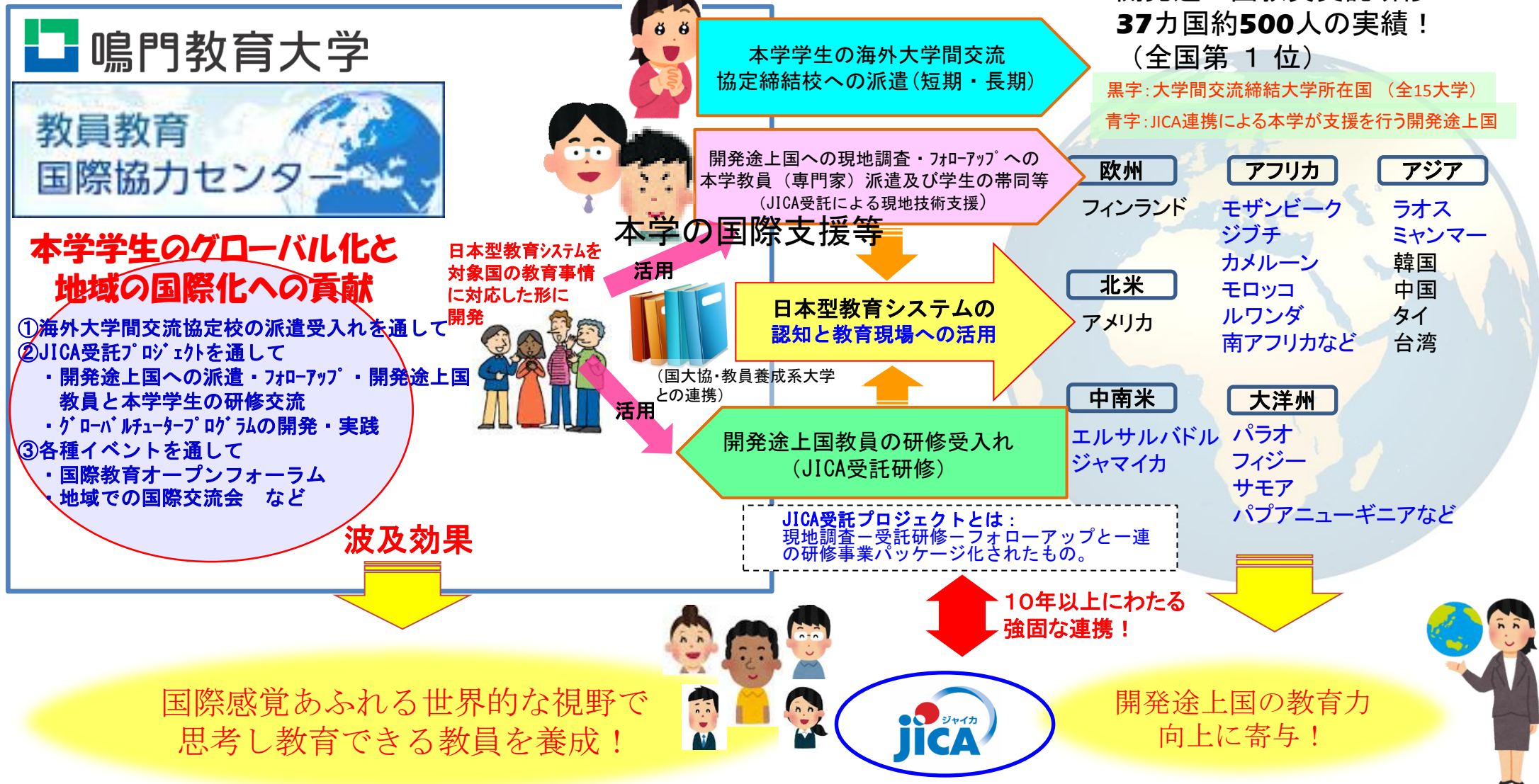
- 1 本学の国際支援
- 2 JICA関連事業
 - ・連携プログラムの概要
 - ・JICA受託事業
 - ・専門家派遣
- 3 今後の支援に向けて
 - ・教育の課題と本学の強み
 - ・日本型教育とウリ
 - ・注目される日本型教育

鳴門教育大学副学長(国際交流担当)

香西 武

1. 本学の国際支援

グローバルな視点を持った教員養成・研修の充実と開発途上国の教育力向上を目指した日本型教育システムによる教育支援



平成25年10月7日 「第9回JICA理事長表彰 表彰式」において、
「JICA国際協力感謝賞」を受賞



2. 本学におけるJICA関連事業

JICA事業の経緯:

アパルトヘイト撤廃(1994)後, 理数科教員の基礎力を向上させるために開始された「ムプマランガ州中等理数科教員再訓練計画」(1999)に参画。2005年事業・教育研究活動の強化のために, 教員教育国際協力センターを設置

JICAと本学との連携協力の推進に関する覚書の締結

覚書に基づく連携プログラムの対象

- ・開発途上国の要請に基づく大学におけるJICA研修員の受入及びそのための協力
- ・教職員等のJICA事業専門家、及び調査団への派遣
- ・大学における国際協力に関連する講義等の実施
- ・JICA四国での実習(インターンシップ)の実施
- ・JICAの事業と連携した大学による教育活動、シンポジウム、セミナー等の実施
- ・JICAの事業と連携した大学による調査研究活動を実施する上でのJICAの支援
- ・施設の相互利用促進

2.1 覚書に基づく連携プログラムの概要

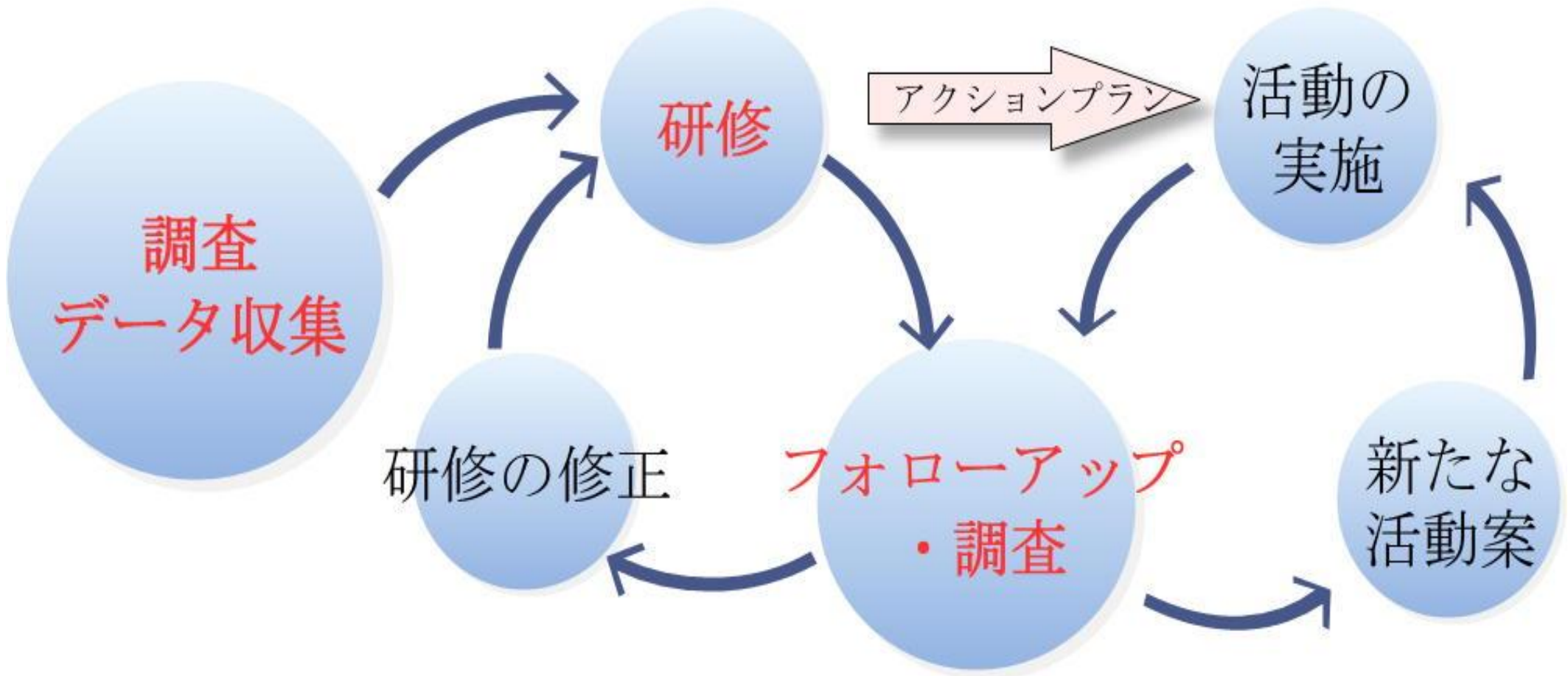
- JICA受託研修
 - 国別研修
 - 課題別研修
- JICA技術協力プロジェクトへの専門家派遣
 - ミャンマー, ルワンダ, モロッコ, モザンビーク
- JICA草の根事業
 - 現在申請中
- 青年海外協力隊短期ボランティア派遣
 - セネガル, ジャマイカ

2.2 JICA受託事業

事前調査

本学での研修

帰国後の活動



JICA受託研修の現状（年間スケジュール）

期間：1-2カ月/年，3年間継続（その後延長もあり）

時期：大学の状況，現地の状況に応じて，決定

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
K	モザンビーク		研修準備	モザンビーク研修 6/29～7/17	研修報告								
	エルサルバドル	研修準備	エルサルバドル 5/25-6	研修報告									
	ジブチ							研修準備	ジブチ研修 10/19～10/28	研修報告			
	ラオス	1年間研修											
	現地指導・調査		ジブチ				モロッコ準備	モロッコ報告書			モロッコ		モロッコ準備
A	大洋州	研修準備	大洋州研修 5/25～7/3	研修報告									
	ラオス				研修準備	ラオス研修 9/28～10/16	研修報告						
	現地指導・調査					ラオス				ラオス			
OZ	サブサハラ		PNG理科指導				研修準備	サブサハラ研修 10/19～11/13	研修報告				
	仏語圏									研修準備	仏語圏アフリカ研修 1/18～2/12	研修報告	
	現地指導・調査					シンガポール							カメルーン
I	PNG	研修準備	PNG研修第1回 5/18～7/3	研修報告			研修準備	PNG研修第2回 11/2～12/11	研修準備				
	現地指導・調査				シンガポール		ジャマイカ						
T			PNG				ラオス		PNG研修第2回				
	現地指導・調査					シンガポール		ラオス			ラオス		
C	国際担当副学 長業務												
ON	短期専門家	(2015年度)											

JICA受託研修の主な研修内容

学内研修:

日本の教育
教科カリキュラムと内容
教員研修
授業づくり
教材作成
教科書, 指導書作成
模擬授業
日本の教員養成
大学の授業視察

最終裨益者に焦点を
当てた研修プログラム

現地のニーズに合っ
た研修の実施

学外研修:

授業の実施
附属学校視察(附属の意義)
教育センターの職務
研究大会視察
校内研究・研修視察(授業研究会視察を含む)
教科書会社研修(教科書, 教師用指導書作成等)
教材会社視察研修
教育行政視察研修(県教委一市町村教委一学校)



研修内容例

モザンビーク国別研修「教員養成校における現職教員教授法改善」

案件目標：

初等教員養成校（IFP）学生用教材の作成に向けて、児童中心型及び問題解決型授業の実現に必要な知識・技術への理解を深める。

成果：

- ・自国の初等算数カリキュラムとIFPの「算数」及び「算数指導法」の講座カリキュラム（ないし年間指導計画）との関連性について説明できるようになる。
- ・日本の算数指導法への理解を通じて、自国での児童中心型及び問題解決型授業の実現に必要な知識・技術を特定できるようになる。
- ・自国のIFP学生用教材「算数指導法」の1単元分の例（モデル）が作成される。
- ・IFP学生用教材作成の手順（プロセス）とポイントを説明できるようになる。

成果品：

- ・IFP「算数指導法」講座のカリキュラム及び年間指導計画の改善案（可能なら系統表も）

注：両成果品のいずれかに講座目的、到達目標（講座全体及び各単元）、指導内容、配当時間、指導方法及び授業形態、使用教材、評価指標、評価方法、合格基準が明記してあること。

- ・IFP「算数」講座のカリキュラム及び年間指導計画の改善案（可能なら系統表も）

注：両成果品のいずれかに講座目的、到達目標（講座全体及び各単元）、指導内容、配当時間、指導方法及び授業形態、使用教材、評価指標、評価方法、合格基準が明記してあること。

- ・IFP学生用教材「算数指導法」の1単元分の例（モデル）
- ・IFP学生用教材作成の作業手順資料

（主要工程フローチャート、各工程の作業内容と成果品、作業上のポイント等）

注：PPTでの作成も可

研修日程例

6/27(月)	9:30 ~ 10:30		オリエンテーション					
	10:30 ~ 11:00		開講式					
	11:00 ~ 12:00	発表	事前課題(a)の共有(算数系統表の確認) 11:00-12:00後藤	香西 武 石坂広樹	鳴門教育大学・教授 鳴門教育大学・准教授	088-687-6414	日本語	鳴門教育大学(C2)
	13:00 ~ 17:00	発表	事前課題(b, c, d)の共有(教員養成校) 13:00-14:00沖津 14:00-14:40三矢 14:40-17:00:手島	香西 武 石坂広樹	鳴門教育大学・教授 鳴門教育大学・准教授	088-687-6414	日本語	
6/28(火)	9:00 ~ 12:00	講義	日本の教育制度 9:00-10:30 手島 10:40-12:00伊藤 13:00-14:30伊藤 14:40-16:10沖津 16:10-17:00伊藤	鈴木宏幸	文部科学省初等中等教育局初等中等教育企画課 地方教育行政専門官	03-5253-4111(内線:3133, 2156)		
	13:00 ~ 17:00	講義	県教委, 地教委の業務と学校支援の実態	細川威典	鳴門教育大学・国際教育コーディネーター			
6/29(水)	9:30 ~ 10:30	講義	日本の教員養成 手島	香西 武	鳴門教育大学・教授	088-687-6414	日本語	C2会議室
	10:40 ~ 12:10	見学	教科教育の授業視察	香西 武	鳴門教育大学・教授	088-687-6414	日本語	C715教室
	13:00 ~ 17:00	実習	モザンビークの分数カリキュラム分析 13:00-14:30伊藤 14:40-16:10手島 16:10-17:00伊藤	香西 武 石坂広樹 濱井利教	鳴門教育大学・教授 鳴門教育大学・准教授 鳴門教育大学・国際教育コーディネーター	088-687-6414	日本語	C518
6/30(木)	9:00 ~ 17:00	講義	日本の算数科教育における分数学習の系統性について 9:00-10:30 伊藤 10:40-12:00木下 13:00-14:00三矢 14:40-15:30沖津 15:30-17:00加美・佐原	坂井武司	京都女子大学准教授		日本語	C518
7/1(金)	10:00 ~ 10:20	見学	学校紹介(手島, 未定)	香西 武 石坂広樹	鳴門教育大学・教授 鳴門教育大学・准教授	088-687-6414	日本語	香川県麻小学校
	10:30 ~ 11:15	見学	1年生算数授業視察(高橋教諭)					
	11:25 ~ 12:10	見学	6年生算数科授業視察(新延教諭)	新延貴弘	香川県麻小学校教諭	0875-74-6237	日本語	
	12:30 ~ 13:00	見学	給食視察					
	13:15 ~ 14:00	実習	全校生交流会					
	14:00 ~ 16:00	実習	6年生との活動					

事前調査

(大学の経費で実施)

目的: 研修を開始するにあたって, 当該国の現状及び課題の把握

モザンビークの例:

調査の概要 (9日間)

- ① JICA事務所にてプロジェクトの詳細に関する調査
- ② 教員養成校における教育の実態に関する調査・・・2校程度実施
- ③ 小学校現場における教育の実態調査・・・2校程度実施
- ④ 中学校現場における教育の実態調査・・・2校程度実施
- ⑤ 教育行政機関での聞き取り

学校は楽しい

学校で勉強しているとき, 覚えることが好きだ

学校で勉強しているとき, 考えることが好きだ

学校の勉強は自分のために必要だと思う

がんばれば自分の夢が叶うと思う

やる気になれば何でもできると思う

私は自分自身に満足している

[11] De que lado o sol se move? (no Hemisfério Sul)



初等理科教育法のサンプル

Teachers training institute of Namaacha

Course 10 + 1, Groups D and F, Duration: 50 minutes, **Date:** 5-3-2013 **Class plan:** nr 7

Subject: Teaching Methodology of natural sciences

Thematic unit: Methods and ways used in teaching natural sciences

Type of Class: Introduction

Subject of class 7: Basic methods of teaching natural sciences: Introduction and explanation, joint development and independent activity (individual or collective).

Specific targets

The learners should be able to:

Identify basic methods of teaching;

Characterize the basic teaching methods;

Frame the teaching method in relation to the nature of the content.

Didactic material

Traditional materials (chalk, eraser and blackboard, pens, notebooks).

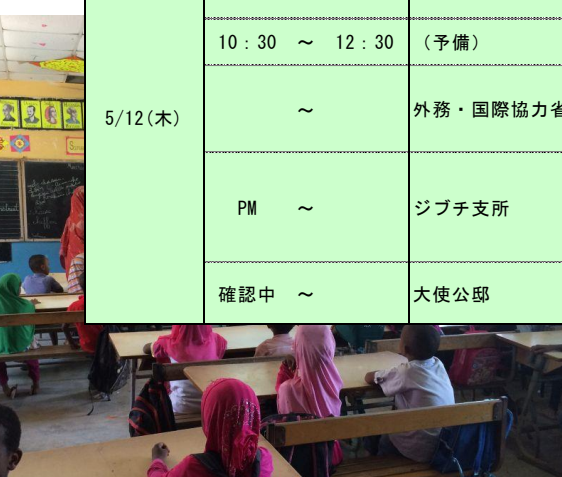
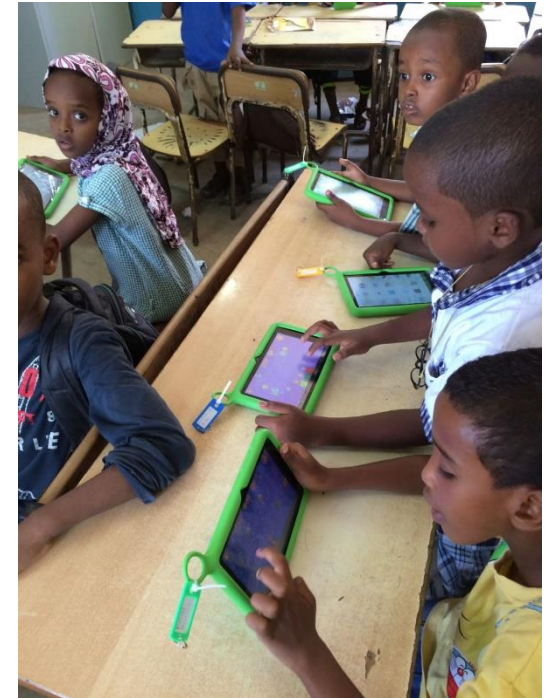


フォローアップ

(JICAフォローアップ経費もしくは大学経費で実施)

目的: 研修で作成したアクションプランの実施状況視察, アドバイス
新たな資料の収集

5/9(月)	7:30 ~ 8:15	ジブチ支所	事前打合せ等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 鳴門教育大学4名 ・ 笹館支所長 ・ JOCV2名 ・ 東山
	8:30 ~ 12:30	Gabode小学校(付属校1)、Balbala6小学校	視察/撮影	<ul style="list-style-type: none"> ・ 鳴門教育大学4名 ・ JOCV2名 ・ Ali NS
	15:30 ~ 18:30	Balbala7小学校	視察/撮影	<ul style="list-style-type: none"> ・ 鳴門教育大学4名 ・ 支所4名 ・ JOCV3名
	19:30 ~ (予定)	長城飯店(中華)	夕食会	
5/10(火)	8:30 ~ 9:15	国民教育・職業訓練省	表敬+視察目的等の説明	<ul style="list-style-type: none"> ・ 鳴門教育大学4名 ・ 笹館支所長 ・ Ali NS ・ 東山
	9:30 ~ 12:30	CFEEF(教員養成校)	視察/撮影	<ul style="list-style-type: none"> ・ 鳴門教育大学4名 ・ JOCV2名(教員養成校集合) ・ Ali NS
	15:30 ~ 18:30	Hodan3中学校	視察/撮影	
5/11(水)	7:00 ~ 10:00	移動(ジブチ市⇒タジュラ)		
	10:00 ~ 12:30	Tadjourah中学校	視察/撮影	<ul style="list-style-type: none"> ・ 鳴門教育大学4名 ・ JOCV2名 ・ Ali NS
	14:00 ~ 16:00	Tadjourah1小学校、Tadjourah2小学校	視察/撮影	
	16:00 ~ 19:00	移動(タジュラ⇒ジブチ市)		
5/12(木)	8:00 ~ 10:30	CFEEF	2015年度AP+域内会合発表	<ul style="list-style-type: none"> ・ 鳴門教育大学4名 ・ 笹館支所長 ・ JOCV2名 ・ Ali NS ・ 東山
	10:30 ~ 12:30	(予備)		
	~	外務・国際協力省(調整中)	表敬+報告	<ul style="list-style-type: none"> ・ 鳴門教育大学4名 ・ 笹館支所長 ・ Ali NS ・ 東山
	PM ~	ジブチ支所	報告	<ul style="list-style-type: none"> ・ 鳴門教育大学4名 ・ 笹館支所長 ・ JOCV2名 ・ 東山
	確認中 ~	大使公邸	表敬/報告/夕食会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 鳴門教育大学4名 (・ 東山)



2.3 専門家派遣

モロッコ:公平な教育振興プロジェクト(実施主体:コーエイ総合研究所)の例

上位目標

域内教育格差を緩和する施策が対象AREF内の他中学校およびモロッコ国内他州にて展開される

プロジェクト目標

国民教育・職業訓練省が域内教育格差緩和に取り組む地域教育委員会(AREF)を支援できるようになる

成果

1. 学習達成度の学校格差に、地域教育委員会(AREF)が取り組む施策が開発される
2. 就学の中学校間格差に、地域教育委員会(AREF)が取り組む施策が開発される
3. 地域教育委員会(AREF)内の他県への施策継続および教育省による他州展開の準備が整う

現状分析

(1-1) MENFP、AREF、Delegation、学校レベルの、生徒評価・試験の実践を把握する

(1-2) AREF／教育省が学校毎の学習到達度を把握し、底上げを要する学校・群を指定する

説明

(1-3) 日本人専門家がMENPF/AREF/CRMEF/Delegationに対し講習会、説明会を実施する

(1-4) MENFP担当者が、AREF/CRMEF/Delegationに対し講習会、説明会を実施する

開発

(1-5) 教育省／AREF担当者が指定校の試験結果を分析し、生徒の苦手単元、学びの阻害要因を把握する

(1-6) 基礎学力向上対策を開発し、指定学校群で試行する(自習型教材の活用を検討)

(1-7) 教育省／AREF/Delegationが、学びを改善する効果的な教授法、授業技術を検討する



NPO日本標準教育研究所の活動

日本標準教育研究所の活動をご紹介します。 >> [記事詳細](#)

[< 前の記事へ](#) (http://www.gakuryoku.net/index.php?key=jo1814379-60#_60)

モロッコ国の教育支援活動

2016/04/01

  | by:サイト管理者

2015年度より、JICAモロッコ国公平な教育振興プロジェクトの一員として、モロッコの子どもたちや先生のために支援活動を行っています。



2015.11

モロッコ国現地で、小学校を訪問して算数の授業参観や、教育関係者との意見交換など、今回のプロジェクトの基礎づくりの活動を行いました。



2016.1

モロッコ国教育関係者が来日し、本邦研修を行いました。会場は、日本標準研究所会議室を使用し、日本標準編集部員との交流の時間も持ちました。

2016.3

2回目のモロッコ国訪問を行い、学力診断テストの問題や集計などについて、教育関係者と意見交換をして、問題作成の協力を行いました。

10:35 | [投票する](#) | 投票数(0) | コメント(0) | [教育振興支援](#)

[< 前の記事へ](#) (http://www.gakuryoku.net/index.php?key=jo1814379-60#_60)

[一覧へ戻る](#)

日本標準教育研究所HPより (http://www.gakuryoku.net/index.php?key=joxtz7sfa-60#_60)

3 今後の支援に向けて

3.1 教育の課題と本学の強み

教員の課題

- ・教科に関する理解度
- ・授業力
- ・授業改善への志向

学校の課題

- ・就学率
- ・中途退学
- ・校内研修
- ・学校組織, 運営
- ・地域, 保護者との連携

教員養成の課題

- ・養成カリキュラム
- ・教科教育と教科専門のバランス
- ・教育方法
- ・教育実習
- ・教育現場との連携

教育行政の課題

- ・学校施設・設備
- ・教員配置
- ・教員待遇
- ・カリキュラム
- ・教科書, 指導資料
- ・教育制度
- ・教員研修システム
- ・教員評価

鳴門教育大学の強み

裨益者を明確にした研修
立場に応じた対応と研修
現地のニーズに合った研修
授業準備から模擬授業, そして教育現場での実験授業
研修目的に応じた教育現場の視察
教科書会社, 教材会社との連携
教育行政との連携
研修を支える事務組織センターの存在

現場
密着型

3.2 日本型教育とウリ

教育技術

35人を指導する技術
児童・生徒が主体となる授業構成
板書構成
複式学級指導

教員研修

授業研究
教材開発
指導案作成

学校運営

教員組織(教務, 研究, 校務)
学級制度

教育を支える物的資源

教材
教科書
教師用指導書
ドリル, 問題集
学習者用教具
教師用教具

教員養成

カリキュラム
教科書
教材
方法と評価

日本のウリ

- ・授業改善DVD + 指導案
- ・複式授業DVD + 指導案
- ・特別活動・学級紹介DVD + 目的, 成果
- ・学習指導要領 + 学習指導要領解説
- ・教科書 + 教師用指導書
- ・教師, 児童・生徒用教材 + 指導方法
- ・補助教材 + 診断表, 使用方法

教育改善

カリキュラム改善
指導要領解説
調査方法と対策

3.3 注目される日本型教育

エジプト・日本教育パートナーシップ
ー日本式教育の導入ー

日本式教育を実施するモデル校を指定

「遊びを通じた学び」による就学前教育	・	補完指導から人間形成へ
体育, 音楽の推進	技能の習得から心の育成へ
特活の推進	集団活動を通じた自己の育成
学校運営, 教育活動の改善	学校目標を設定した自律的教育活動
教員, 指導者の能力向上	多様性を持った現職教員育成
技術教育	科学と技術の融合

学校運営, 校務組織と学級



ご静聴ありがとうございました



国立大学法人
鳴門教育大学
Naruto University of Education

